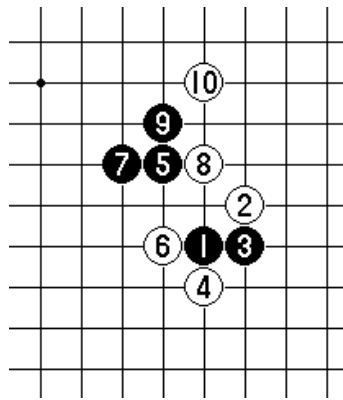


# 連珠っておもしろい

## 九段 河村典彦

### ●第6回● 定石は難しい??

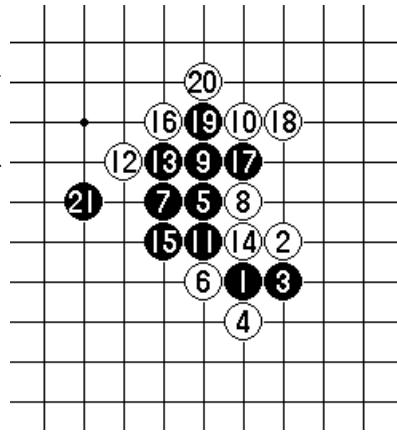
城西連珠会に参加するようになって、中村氏と久々に会うことができた。彼にすごい所はまずなんと云っても定石知識の豊富さだ。さっそく次の形からレクチャーが始まった。



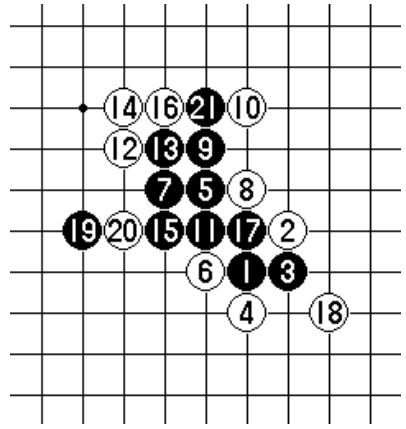
雲月雨月共通形で白4の桂馬挟みは定石の中では屈指の難型だろう。黒5と飛び出すのが定石だが、白6に対し黒7は譜の方が変化が少ない。もちろん一路下

に打っても勝ちがある定石である。

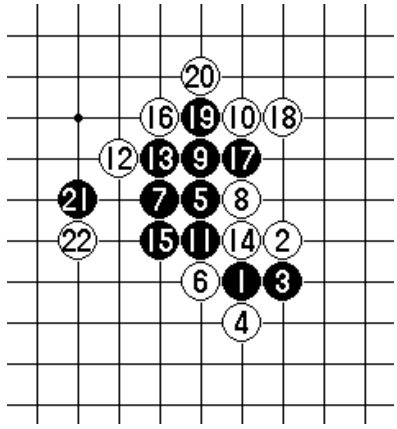
そこで白8が考えられる防ぎ。黒9から直接的に勝ちに行ってもうまくいかなことから、黒9と力を蓄える。白10と止められた時に、黒11からさあ勝つてくださ



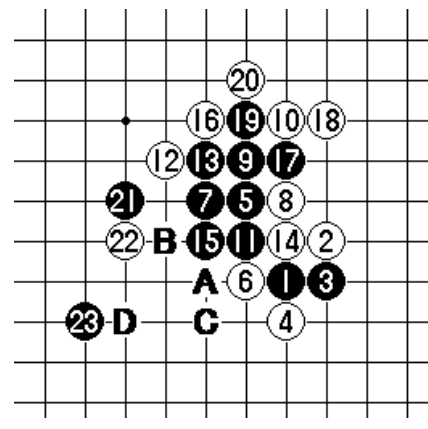
黒11とズバット引くと白12を反対は簡単だからこの12は絶対である。すると黒13から攻めを継続するよ



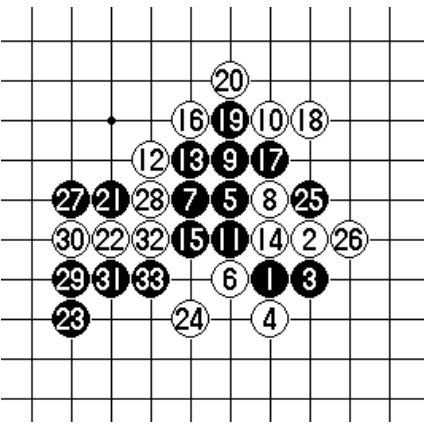
その前に、白14の変化を押さえておこう。これは黒15と引けば以下四追いで、次の白22だが、こうやって浮かして止めるのが急所で、次の一手がこの問題の主眼である。



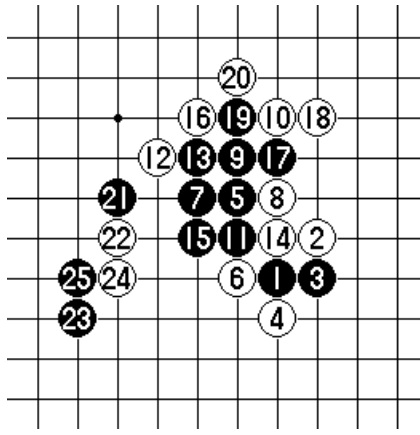
さあ、黒どうやって手をつなげたらいいだろうか。皆さんも考えてみてほしい。



23!と打つのが正解である。これでA BやC Dの四追いを含み、白24のノリ

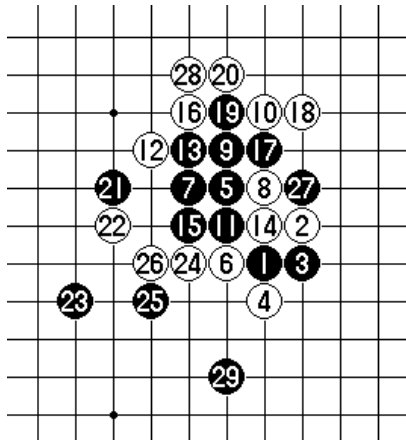


手には黒25と先手を取つてから27、29と打てば勝ちが見えてくる。なお、黒27を打たないと上辺で四迫い三々禁があるので要注意。また、次の24は黒に発生した四迫いを乗っているという主張だが、冷静に黒25と押さえておけば両勝ちである。



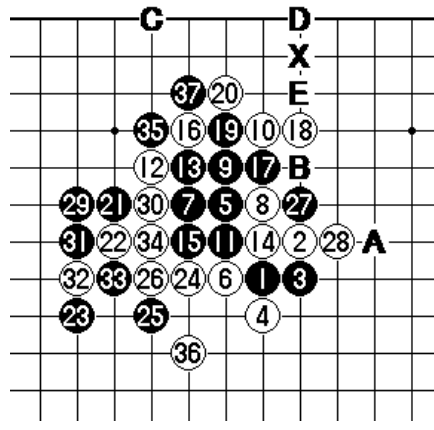
しからば、どこが最強の防ぎかと言うと、次の白24が最強である。研究や追い詰めを調べる時に、最強がどこかを把握しておくのが非常に重要である。一見弱防に見えても案外強い防ぎ

である場合が多いので気をつけたい。さて、この24にはもう一度妙手を出さなければなりません。第2の関門である。



黒25はなかなか気がつかない一手である。この狙いは黒29に打つことにより右辺とつなげようというもの、もちろん一手四三のミセ手でもある。白26が最強だが、黒27とここで様子を見るのがうまく、白28に止めるなら、黒29でうまく連結できる。右辺の四迫いと左辺の白の四ノビが無

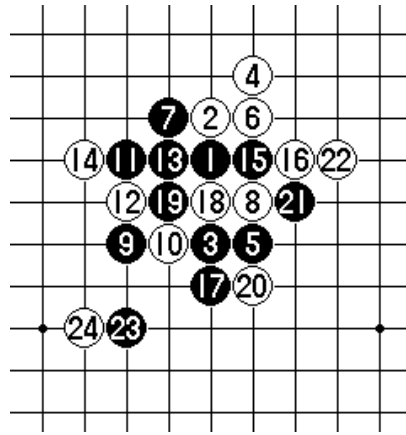
効なのを確認してほしい。そこで、白28は反対が最強になる。ここで注意しなければならぬのは、この時点で白にA、EでX点三々禁が残っているということである。



そこですかさず黒29と伸びられるかが最後の関門で、あとは黒31と打てばこれが白の四迫いも乗っており、おまけに防ぎもなくなるといふ感動ものの打ち上げとなる。最後に黒37が利いた。ここまで打ち上げてようやく黒11からの追い

詰めが完了となる。どうです、定石は難しいでしょう？

【前回の訂正】  
黒23に対し白24で黒勝ち困難でした。(T氏指摘)



黒23、25と組めば勝てます。

